

**Population** 人のうごき (福智町の人口)

●人口 24,728人  
前月比-53人  
前年比-265人

●男性 11,690人  
●女性 13,038人

●世帯 11,199世帯  
前月比-11世帯  
前年比+14世帯

※平成24年9月末現在(住民基本台帳人口)



(お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長 弔電はひかえさせていただきます)

**Tax** おさめて安心(税の納期限)

●国保税 [5期] 11月30日 金 が納期限です  
●町県民税 [4期] 11月30日 金 が納期限です

**Event** テクホー net (近隣の催し)

【田川市】石炭・歴史博物館特別企画展  
10月30日 四 ~ 11月25日 日  
9時30分~17時30分(入館は17時まで)  
(石炭・歴史博物館第2展示室)  
※期間中の全月曜日は休館



田川市石炭・歴史博物館 ☎ 44-5745

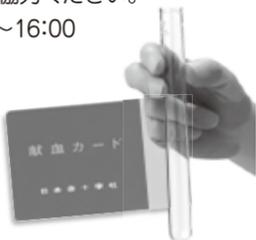
【糸田町】いいばいっともだいすき祭 '12  
11月10日 日 9時~18時  
11月11日 日 9時~16時  
(糸田町文化会館・町民体育館・グラウンド)  
☎ 糸田町役場教務課社会教育係 ☎ 26-0038

Medical health

保健の掲示板

11月16日から12月15日までの保健事業日程

- **12月5日** ④【4~5か月児健診】  
生後4~5か月児を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
  - **12月7日** ⑤【健康相談】  
健診結果や介護など相談希望者を対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30~15:30
  - **12月12日** ④【1歳6か月児健診】  
1歳6か月~1歳7か月児を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
- ※金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。各保健センターなどで予約制の健康相談を実施いたします。
- **血液が不足しています!**  
血液はまだ、人工で作ることができません。みなさんの元気を少し分けていただくだけで、救われる命があります。身近にできるボランティア「愛の献血」にご協力ください。  
日程: 11月20日 ④ 10:00~11:30, 12:30~16:00  
会場: 方城保健センター  
対象: 体重が50kg以上で男性は17歳~69歳、女性は18歳~69歳(65歳以上の場合は、60~64歳の間に献血をしたことがある人)の健康な人
- ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500



Cancer screening

乳がん・子宮がん検診無料クーポン券が届いたみなさんへ  
検診はお済みですか?

乳がん・子宮がん検診は、2年に1回継続的に受け続けることが大切です。自分のために、あなたの大切な人のためにがん検診を受けましょう。

無料クーポン券で指定医療機関の検診を受診できる期間は**今年の12月末(医療機関の診療日)まで**です。有効期限を過ぎた場合は、無料クーポン券は使用できませんので、まだ受診されていない場合は、早めの予約をおすすめします。

※無料クーポン券配布対象に該当する人へは、5月にクーポン券を個別郵送しています。

※平成24年度に集団健診で乳がん・子宮がん検診を受診済みの場合は使用できません。

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500



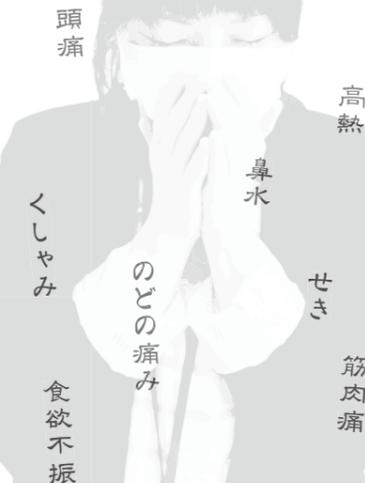
保健師だよりNo.65 News of Influenza

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

インフルエンザは一般的なかぜと違って重症化しやすく、肺炎などを合併して死に至ることもあります。インフルエンザに「かからない」「うつさない」ために、予防対策を実践しましょう。

インフルエンザはどうやってうつるの?

インフルエンザは、主に「飛沫感染・空気感染」と「接触感染」によってうつります。「飛沫感染・空気感染」は感染した人のくしゃみやせきなどの飛沫とともに飛び散るウイルスを体内に吸い込むことによって感染します。また、「接触感染」はウイルスのついたもの(ドアノブやスイッチなど)に触れた手で目・鼻・口を触ると、粘膜などを通じて体内に入り感染します。よって、感染拡大を防ぐためには、飛沫(しぶき)をださないことと手を清潔に保つことが重要です。



「かからない」「うつさない」ための**5**つの予防法

予防法 1

マスクを着用しましょう

鼻・のどの粘膜の湿気を保ち、ウイルスの侵入を防ぎます。また、せきやくしゃみによるウイルスの飛散を防ぎ、他の人への感染防止に有効です。

＜マスクの着け方＞

○鼻・口・あごを覆い、鼻筋によくフィットさせる。  
○外す時はゴムひもを持ち、マスク自体に触れないようにして、ふたつきのゴミ箱に捨てましょう。  
○外したら必ず手を洗いましょう。  
※厚生労働省は不織布マスクを推奨しています。使い捨てマスクは毎日新しいものに取替えましょう。



予防法 2

せきエチケットを心がけましょう

○せきやくしゃみなどの症状がある時はマスクを着けましょう。  
○周囲にせきやくしゃみをしている人がいたらマスクの着用をすすめましょう。  
○マスクがない時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔を背けて2m以上離れましょう。  
※使ったティッシュは、ふたつきのゴミ箱に捨てて手を洗いましょう。



予防法 3

予防接種を受けましょう

重症化予防に有効です。高齢者や乳幼児などインフルエンザにかかった時に重症化する恐れの高い人やその家族は接種を受けることをお勧めします。インフルエンザは1~2月頃に流行のピークがあり、ワクチン接種による効果は、接種後2週間頃から5ヶ月程度持続します。そのため毎年10月中旬から12月上旬頃までには受けておくと良いでしょう。



予防法 4

しっかり手を洗いましょう

水で手をぬらし、石けんかハンドソープをつけてよく泡立てます。手のひらと甲→指の間→爪・指先→手首の順に洗い流水でよくすすぎます。



予防法 5

正しいうがいをしましょう

フクフクうがいをして吐き出します。もう一度口に水を含み、顔を上に向け、1回に10秒くらいかけて、2~3回のの奥までしっかりとうがいをします。



※65歳以上の人または60~64歳の人で心臓・腎臓・呼吸器疾患・血液および免疫疾患などの障害(身体障害者手帳1級程度)がある人は、公費での助成が受けられます。詳細は広報ふくち10月号の折込みチラシをご確認ください。